



新年を迎えて

～地域との連携～



九州補給処長 兼ねて

目達原駐屯地司令

陸将補 佐藤 洋



目達原駐屯地に所属する隊員及び御家族の皆様、また日頃より多大な御支援をいただきありがとうございます。協働力・地域住民の皆様、明けましておめでとうございます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、中国の軍事力増強及びその活動の活発化、北朝鮮の動向に加え、ロシアによるウクライナ侵攻により、これまでの国際秩序が根底から揺るがされており、戦後最も厳しく複雑な状況が継続しています。

国内においては、1月13日に日向灘沖で最大震度5弱の地震が発生したほか、南海トラフ巨大地震30年以内発生確率が引き上げられるなど、自然災害に対しこれまで以上に常に万全の態勢を保持する必要があります。

このような国内外の厳しい情勢や現状を踏まえ、南西地域の兵站の中核であり、北部九州における航空部隊の中核である目達原駐屯地の役割は益々重要となっており、駐屯地の各隊員は改めて自衛隊の崇高な使命を自覚しその責務を完遂するため、日夜防衛・警備等の即応態勢を堅持するとともに、任務遂行に必要な各種教育訓練等を継続してまいります。

今年の干支は「巳」です。蛇は定期的に脱皮を繰り返すことから、新しい自分に生まれ変わり、次のステージへ進む象徴とされています。仕事においても、過去のやり方に固執することなく、時代の変化に順応し新たな目標に向かって挑戦し前進していくのにはふさわしい年であり、目達原駐屯地の各隊員は、駐屯地の役割の重要性を深く認識し、その重責の一端を担う駐屯地所属隊員としての誇りを胸に、強い責任感をもって責務の完遂に努め、地域に愛され頼りになる駐屯地を目指して引き続き訓練・業務等に日々邁進する所存です。本年が皆様におかれまして輝かしい年になりますよう心から祈念申し上げます。



発行
令和7年2月
自衛隊目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161

X(旧ツイッター)



@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地

1月現在
約10,500
フォロー中!

「フォロー」「いいね」「リツイート」をお願いします。

「駐屯地X(旧ツイッター) 発信中!」
目達原駐屯地隊員の訓練
行事・災害派遣情報など、
満載!是非ご覧下さい。
ホームページ



駐屯部隊長

新年の挨拶



西部方面後方支援隊長

1等陸佐 中村 公多朗



昨年、西部方面後方支援隊は、国内における海兵隊との実動演習、令和6年度陸上自衛隊演習、日米豪比共同指揮所演習への参加等を通じて、常日頃から様々な脅威に備え、そして事態に即応し得る個人と部隊の能力向上に取り組みで参りました。このような中、昨年は能登半島地震に伴う入浴支援に従事し、その任務を完遂して、民生の安定に寄与することができました。本年も、本来業務である兵站支援業務を常日頃から徹底し、更なる兵站の実効性向上に全力を尽くして参りますので、変わらぬ御理解と御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとって健康な一年になることを御祈念申し上げます。年頭の御挨拶いたします。

九州補給処最先任上級曹長 兼ねて
目達原駐屯地最先任上級曹長
准陸尉 川原 祐太郎



新年明けましておめでとうございます。昨年中は駐屯地隊員、御家族の皆様、そして地域の皆様から御協力をいただき、深く感謝申し上げます。本年も駐屯地司令を補佐し各隊の最先任上級曹長と連携して駐屯地の規律の維持、部隊間の融和を図り、任務に邁進していく所存であります。また、現代を担う隊員としての責務を完遂し後輩を育成するとともに、我が国の平和と独立を守る自衛官としての使命を果たすため本年も歩みを止めることなく前進して参ります。この一年が皆様にとりまして幸せと繁栄の年になりますよう心より御祈念申し上げます。

第1戦闘ヘリコプター隊長
2等陸佐 前田 哲矢



新年明けましておめでとうございます。引き続き愚直に航空安全の獲得に取り組むとともに、各種訓練等による作戦遂行能力の向上に取り組みで参りますので、引き続き御支援・御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

西部方面ヘリコプター隊長
2等陸佐 中村 健太



謹んで新春の御挨拶を申し上げます。本年も隊員一丸となって、航空安全を確保しつつ、明るく前向きに日々の任務に即応して参ります。引き続き、御支援・御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第4飛行隊長
2等陸佐 種物谷 英憲



新年明けましておめでとうございます。第4飛行隊については本年も変わらず、各種任務に即応しつつ、更なる練度の向上に邁進する所存でありますので、引き続き皆様の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

鳥栖燃料支処長
2等陸佐 竹井 一寿



新年明けましておめでとうございます。西方唯一の燃料支処として各種任務を完遂すべく取り組んで参ります。本年も変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

西部方面管制氣象隊第1派遣隊長
1等陸尉 長野 康宏



新年明けましておめでとうございます。派遣隊は、引き続き航空機の安全運航を支えるため管制氣象業務を継続して参ります。本年も変わらぬ御理解・御協力よりよろしくお願い申し上げます。

第321基地通信中隊長
3等陸佐 船津 孝成



新年明けましておめでとうございます。今年も隊員一同、通信科隊員としての「プライド」と「誇り」を持ち、「ユーザー第一主義」をモットーに切れない通信を構成・維持して任務に邁進して行きますので、少数精鋭ではありますが本年もよろしく申し上げます。

第134地区警務隊目達原派遣隊長
1等陸尉 高田 浩史



新年明けましておめでとうございます。今年も事案発生時の未然防止に重点を置いた防犯活動を積極的に実施していく所存です。本年も変わらぬ御理解・御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

西部方面システム通信群本部中隊
映像写真小隊空中伝送班長
2等陸尉 鈴木 慎平



新年明けましておめでとうございます。本年も引き続き即応態勢を維持するとともに「方面総監等の目」となるべく任務を遂行し、方面隊の任務達成に貢献して参ります。本年も引き続き宜しくお願い致します。

西部方面総監初度視察



儀仗を受ける総監

駐屯地は、令和6年10月3日(木)、第41代西部方面総監 荒井正芳陸将による初度視察を受けました。

初度視察では、儀仗隊による儀仗の後、記念撮影、幹部挨拶、状況報告、施設巡視及び部隊長等との懇談等が実施されました。本視察において、西部方面隊の兵站と航空部隊の中枢である目達原駐屯地各駐屯部隊の防衛警備・災害派遣等の任務遂行能力及び地域との連携の状況について確認していただきました。



状況報告



記念撮影



部隊長等との懇談



施設巡視

目達原駐屯地創立70周年記念行事



祝賀飛行

駐屯地は、令和6年11月24日(日)、創立70周年記念行事を行いました。今回は「感謝、そして前進」をテーマに掲げ、記念式典、祝賀飛行、装備品展示、子ども広場、車両体験搭乗、航空機地上滑走、体験広場、模擬売店等を実施しました。特に、ステージイベントでは、らっぱ吹奏、赤熊太鼓(吉野ヶ里町)、上峰太鼓(神埼清明高校吹奏楽部と小郡駐屯地音楽隊合同の音楽演奏等)を実施し、来場者の皆様に楽しんでいただきました。

当日は、約5,000名の方々が来場され、盛会の内に行事を終えました。



航空機装備品展示



記念式典(駐屯地司令式辞)



体験広場(ドローン体験)



子ども広場(射的)



ステージイベント(音楽演奏)



模擬売店



九州補給処

補給統制本部長視察

九州補給処は、令和6年10月9日(水)、目達原駐屯地において、補給統制本部長 柿野陸将の視察を受けました。

本視察では、懇談、状況報告及び施設実視等を実施し、九州補給処の現状、南西兵站態勢及び九州補給処の主要な取り組み状況等を理解していただきました。



懇談



施設実視

第1戦闘ヘリコプター隊

レジリエンス演習・日米共同統合演習

第1戦闘ヘリコプター隊は、令和6年10月17日(木)から10月28日(月)までの間、第1飛行隊主力が日出生台演習場で実施されたレジリエンス演習に参加し、島嶼における地上部隊と連携した対着上陸戦闘要領を演練して事態対処能力の向上を図りました。

また、同年10月18日(金)から11月3日(日)までの間、第2飛行隊主力が南西(沖縄)地区で実施された日米共同統合演習(KS25)に参加して、共同・統合運用環境下における練度の向上を図りました。



再出撃のための燃料補給(日出生台)



航空機推進(空自那覇基地)

西部方面後方支援隊

第103弾薬大隊

令和6年度陸上自衛隊演習(06陸演)参加

西部方面後方支援隊第103弾薬大隊は、令和6年10月7日(月)から11月1日(金)までの間、令和6年度陸上自衛隊演習に参加して「島嶼展開師・旅団に対する弾薬補給に任ずる部隊の行動」の実効性向上を図りました。また、本演習には大隊所属の即応予備自衛官も参加し、常備自衛官との連携強化を図ることができました。



弾薬の荷役作業を行う
即自隊員



第2師団長より激励を
受ける即自隊員(左2名)

第104不発弾処理隊

宮崎空港不発弾爆発に係る不発弾処理(技術援助)

西部方面後方支援隊第104不発弾処理隊は、令和6年10月2日(水)、宮崎空港で発生した誘導路爆発事故に伴い、宮崎県警察本部からの要請により、第104不発弾処理隊長以下3名が出動して現場で識別等の技術援助を実施しました。宮崎空港に到着した3名は、関係機関等との会議を行った後、爆発現場へ進入し、火薬の独特の臭いと飛び散った残骸を確認しました。細部識別の結果、※不完爆の米国製250kg普通爆弾と識別するとともに、弾底信管に化学式長延期信管が装着されていたことが判明しました。その後、現地に残った爆弾の破片及び火薬を回収し、空港の復旧に寄与しました。続いて、令和6年10月19日(土)深夜から20日(日)早朝にかけて宮崎空港の試掘作業に伴う緊急調査の要請を受け、処理班長以下3名を派遣し、試掘作業における注意事項等の技術援助を実施しました。幸いにも不発弾の発見には至りませんでした。

宮崎空港における磁気探査の作業については、10月末から実施中であり、第104不発弾処理隊は、24時間365日、要請があれば速やかに対応できるように常に情報収集を行うとともに、待機態勢を維持しています。



誘導路内爆発現場へ向かう処理隊員



試掘現場に立ち会う処理隊員

最後に、不発弾は戦後80年経っても爆発する可能性があることを肝に銘じ、より一層安全・確実に不発弾処理を実施するとともに、国民の生命及び財産を守り続けられるよう引き続き任務に邁進して参ります。

※不完爆とは、何らかの原因で爆弾内の火薬が全燃焼せず一部残っている状態のこと。

西部方面ヘリコプター隊

予備自衛官招集訓練

西部方面ヘリコプター隊は、令和6年12月13日(金)から17日(火)までの間、目達原駐屯地において、予備自衛官招集訓練を実施しました。

優先課題として、精神教育・武器訓練・体育訓練を実施して、予備自衛官としての資質の養成、知識及び技能の維持を図ったほか、副課目として、救急法・特殊武器防護・野外勤務・通信訓練・職種訓練を実施しました。

また、後方地域において予備自衛官による負傷者対応を想定した患者後送訓練を実施し、訓練効果を増大させたほか、予備自衛官の出頭意欲の向上を図ることができました。

本訓練に参加した予備自衛官からは、「現在の実情に適応した教育を企画していただき大変理解が深まりました。訓練で得た知識や経験を活かし、社会貢献に役立てるために努力していきたいです。」と所見を述べました。



着隊報告



武器訓練



体育訓練



患者後送訓練

第4飛行隊

航空無事故44年達成

第4飛行隊は、令和6年11月7日(木)、航空機無事故継続44周年記念行事を実施しました。

昭和55年11月5日に自隊で発生した最後の航空事故事例についての概要、原因、対策及び教訓事項の教育を実施して、事故の風化防止を図るとともに、無事故飛行継続のための航空安全確保の資としました。



記念撮影

西部方面管制気象隊

第3次及び第4次派遣隊訓練

西部方面管制気象隊第1派遣隊は令和6年7月7日(月)から同日11日(金)までの間に第3次派遣隊訓練を、令和6年11月11日(月)から同日14日(木)までの間に第4次派遣隊訓練をそれぞれ実施しました。

いずれも飛行部隊と協同で任務を遂行するための行動を演練し、管制気象支援、部隊相互の調整要領等を深化させ、野外行動能力の向上に努めました。

第1派遣隊は引き続き一丸となり、あらゆる任務に対応できるよう事態対処能力の向上に邁進します。



航空気象装置の展開(第3次)



敵の侵入を警戒・監視(第4次)

第321基地通信中隊

陸上自衛隊演習に伴う中隊訓練

第321基地通信中隊は、令和6年10月17日(木)から10月23日(水)までの間、陸上自衛隊演習に伴う中隊訓練を実施しました。

第321基地通信中隊の中隊本部及び通信隊は、指揮所の開設、外壁の防護及び基地野外接続等各種通信支援を実施し、特に中隊本部は、事務所を仮設庁舎(プレハブ)に移設してからの初めての訓練であり、狭い空間での指揮所開設に苦勞していましたがなんとか無事に任務を完遂することができました。



中隊本部の指揮所



交換機の補完準備

西部方面システム通信群本部中隊

映像写真小队空中伝送班

海自掃海艇うくしま火災に伴う映像配信

空中伝送班は、令和6年11月10日(日)に福岡県宗像市沖で発生した海自掃海艇うくしまの火災に伴う被害情報収集のため、西部方面ヘリコプター隊第2飛行隊と協同で任務にあたりました。映像配信の命令下達後直ちに目達原駐屯地を離陸し、福岡県宗像市大島沖へ推進して被害状況を撮影するとともに、方面総監部及び関係各所に配信しました。

今後、即動態勢を保持し映像配信のニーズが発生した際には速やかに推進し、撮影及び配信をして西部方面隊等の任務達成に寄与して参ります。



機内の状況



離陸前の器材点検



